## あげおのできごと



期待しています」とあいさつしまし 外に上尾市を広くアピールできると

^が『動く広告塔』として、市内・ 畠山市長は、「今後、このトラッ

役社長は、「こういった機会を通じ た。清水運輸グループ清水代表取締 を一新しました。

定」の再締結を行い、すでに運行し

上及び地域活性化に関する協力協

ていたプリントトラックのデザイン

コンテンツを活用したブランド力向

運輸グループ)は、平成29年に交わ で、上尾市と㈱エスユーロジ(清水 披露目式」が行われました。この式

9月26日、

「プリントトラックお

した「上尾市と㈱エスユーロジとの



## 尾の魅力を乗せ

く広告塔」として関東全域を走行し 社の社会貢献への意義を伝えまし が増えてくれればと思います」と自 業界に興味を持って働いてくれる人 て、これから人が集まりにくいこの プリントトラックは、今後、「動

1上尾市の空撮写真に第6次上尾市総合計画の将来都市像とアッピーファミリー 2上尾市の特産品であるキウイフルーツや梨、2021-

2022あげお市民セレクションの3品

3畠山市長(左)と清水運輸グループ清水代表取締役社長

## 業をより身近に



ぎり鎌 で稲刈りを体験する子どもたち 主食である米作りを身近 れていました。参加 たが、次第に笑みがこぼ 手刈りで稲を収穫し、 満足の様子でした。 に感じることができて大 の一連の流れを通して、 は、田植えから収穫まで にこわごわした表情でし 天日干しを行いました。 稲架掛け」という方法で 参加した子どもたち のこぎり鎌を使用して 最初は初めて持つ鎌



ト商品を受け取る来場者 テイ クアウ

水田で6月に自分たちで 10月9日、平方地内の

する機会となりました。

当を手にしていました。 密を避けながら惣菜や弁 透を実感し、変わらない に加え、列を作る際にも 人と人(店)の絆も再確認 「新しい生活様式」の浸

した。 クアウト商品を販売しま われ、あげおグルメサイ テイクアウトフェアが行 通路であげお応援グルメ の出回にJR上尾駅自由 げるため、10月9~17日 トに登録する26店がテイ 自宅で店の味を楽し 市内の飲食店を盛り上

あげお応援グルメテイクアウトフェア しい生活様式と変わらない絆

シャルメディアをご利用ください。







スクの着用、手指の消毒 うと訪れた来場者は、



◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは ぐるっとくん"をご利用ください。 市内循環バス '

本紙は、再生紙を 使用しております



行われました。

業体験教室(稲刈り)」が 植えた稲を収穫する「農